

日台アライアンスセミナー & Computex/InnoVEX参加報告

ET事業本部では、日台アライアンス促進とET事業プロモーションを兼ね、Computex TAIPEIでの「JASA ET・IoTセミナー」の実施と共に、スタートアップピッチイベントである「InnoVEX」に参加しました。

Computex 2018は、メインテーマにAI、5G、ブロックチェーン、IoT、イノベーション＆スタートアップ、ゲーミング＆VRを掲げ、会期5日間で168カ国・地域から42,284名の海外来場者が訪れたとの事。

AI技術の進化とIoT応用が進む中、2つのテクノロジーの優位性を融合させた「AIoT（AI+IoT）」を謳い、AIコンピューティング、クラウド等を組み合わせた全方位的なソリューションに関し、展示会場のみでなく、NVIDIA、Advantech等リーディングカンパニーによるフォーラムも開催しています。

また、IoT関連製品が集中するSmartTEX (Smart Technology Applications & Products)と並んで今回も注目のイベントとなっているのが「InnoVEX」。今年3回目の開催で年々規模が拡大し、世界21カ国・地域から388社が出展するとともに、ピッチコンテストを実施。その賞金総額は何と35万米ドルとの事で大賞には3万



米ドルが贈呈されます。

一昨年ET・IoT展でAwardを受賞したNextdrive社も、このInnoVEXを踏み台にスマートホーム分野で急成長した企業で、昨年日本に拠点を設立し、JASA会員として活動に参加しています。

また、JASAとして日台アライアンスの促進を目的にComputex会場内にて、日台アライアンスセミナーを開催し、台湾企業から97名が参加しました。

日本における技術・市場動向等と併せ、日経BP総研の横田氏より「IoT新時代への提言」、富士通の須賀氏より「IoT活用事例とその分析結果に見るIoTによる価値提供の進化ステップ」の各講演が行われ、日本とのパートナーシップ、ビジネスアライアンス展開に向けた機会として、JASAとTCAが共催したものです。

JASA ET/IoTセミナー

「日本のIoT・ET最新動向と新たな日台アライアンス展開に向けて！」

日時／6月8日(金)9:30-12:30

会場／ワールドトレードセンター

HALL 1 第5会議室

主催／組込みシステム技術協会(JASA)

台北市コンピュータ協会(TCA)

〈プログラム〉

開会挨拶

「日本のET・IoT動向とアライアンスの勧め」

(一社)組込みシステム技術協会

専務理事 武部桂史

「日台連携で日本・海外のIoT市場を狙え」
～ET・IoT Technology 展示会活用とビジネスパートナーによる市場展開～

「IoTの未来と現実」

～エッジ、AI、5Gが切り開く新時代～

日経BP総合研究所

主席研究員 横田英史氏

「ビジネスイノベーションを加速するIoTソリューション」

～IoTによる価値提供の進化ステップ、事例と富士通の取組み～

富士通株式会社

ネットワークサービス事業本部 本部長

須賀高明氏

ET・IoT展では、今年より「スタートアップ」「グローバル」をテーマの一つに掲げており、新たなテーマパビリオンを運営するとともに、ピッチイベントも計画しています。国内外のスタートアップからリーディングカンパニーが集結する「ET×ET(エッジテクノロジー)総合展」を目指します。

今回のセミナー実施とイベント参加により、台湾からの企業・来場者参加、強いては海外動向等の情報発信できるグローバルオープンイノベーションの場が提供できることを期待しています。